

杉並区失語症サロン主治医意見書

令和 年 月 日

フリガナ		生年月日	年 月 日	年 齢	歳
氏 名					

1 障害名

2 障害の原因となった傷病名

受傷・発症日 年 月 日

3 その他の傷病名

4 失語症の主たる症状および日常生活への影響

5 既往歴

6 発作の有無

有 ・ 無

症状および対処

緊急連絡先： (電話番号：)

(裏面に続く)

7 日常生活自立度

あてはまる項目に○をつけてください

障害高齢者の日常生活自立度 J 1 ・ J 2 ・ A 1 ・ A 2 ・ B 1 ・ B 2 ・ C 1 ・ C 2

認知症高齢者の日常生活自立度 I ・ II a ・ II b ・ III a ・ III b ・ IV ・ M

<別表参照>

8 他科、他院の受診情報等があればご記入ください

9 その他（留意点等）

医療機関名：

住 所：

電 話 番 号：

医 師 氏 名：

印

障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

認知症高齢者の日常生活自立度

I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記 II の状態が見られる。
II b	家庭内でも上記 II の状態が見られる。
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記 III の状態が見られる。
III b	夜間を中心として上記 III の状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。